

〔質問順位による〕



市政のそこが聞きたい!!

第1回（3月）定例会の一般質問は、13日、14日の2日間に7人の議員から市政全般について質問がありました。

主な内容は、次のとおりです。



今城 隆 議員

学校建設について

問 宿毛小中学校建設PFI事業について聞く。

答 契約は総額で45億円。施設完成時に、国と県の補助金と起債で施設整備費33億円のうち30億円を支払った。残りの差額は契約期間30年の割賦払いをする。施設整備費以外では、宿毛学校PFI株式会社に契約満了まで維持管理業務を7・3億円、プロジェクトマネジメント費4・1億円で担つてもらう。

答 市独自で学校建設をすれば、プロジェクトマネジメント費は要らない。PFIは市に準備積立金がなくとも事業実施ができ、民間業者にサービス料支払形式で起債分以外を繰延払いにするものだが、校舎建て替えだけなら民間の創意工夫の余地はなく、コスト高になる。PFIのメリットが少ないのでないか。

問 PFIの問題として運営の不透明さが指摘されるが、提出された業務報告書や監視報告会議事録を市のホームページに公開を求める。

答 令和5年度に基本計画策定、6年度に用地を購入する。PFIで考えると、7年度に事業者選定、8年度に造成設計や開発許可協議、9～10年度で造成工事、11～12年度で

問 市独自で学校建設をすれば、プロジェクトマネジメント費は要らない。PFIは市に準備積立金がなくとも事業実施ができ、民間業者にサービス料支払形式で起債分以外を繰延払いにするものだが、校舎建て替えだけなら民間の創意工夫の余地はなく、コスト高になる。PFIのメリットが少ないのでないか。

答 設計から全て一括でやってもらい、30年間の管理を担保できる。

問 開校までのスケジュールを聞く。

答 咸陽小学校、大島小学校、片島中学校を高台に移し、子どもたちの安全確保・教育環境を改善し学校教育の円滑な実施を図る。また、小中一貫教育を効果的に發揮できる小中一体型校舎の建設を検討する。



西地区小中学校建設の基本方針を聞く。

問 西地区小中学校建設の基

答 市長に聞く。西地区小学校建設を、宿毛の未来への希望を具現化するモデルとして、市民と協働で取り組もうとする。

答 基本計画の策定には、ワーケーションを計画している。市民と協働で話をしていきたく。その後も、地域との連携や少子化、財政、様々な観点からの意見、提案をいただければと思う。西地域の核となる学校建設に向け、教育委員会と連携して取り組みたい。学校づくりの審議についても、PFIにするかどうかについても、決定プロセスをできるだけ公開して取り組みた

答 教育長に聞く。保護者、地域、教職員の声を学校基本計画に反映させるため、早急に西地区3校の学校運営協議会を機能させていただきたい。

校舎建築を行い、13年度に開校予定である。